

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	造血幹細胞移植医療体制整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 泉 潤一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	3種類の移植法(骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植)のうち、患者の疾病の種類やステージに応じて最適な移植法を選択し実施できる体制を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	血液がん等に対する造血幹細胞を用いた早期治療(採取の積極的実施、緊急の移植受入)の実践を行うとともに、造血幹細胞移植に関する人材育成、治療成績の向上及び研究を促進させるための基盤整備を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算				65	218	
		補正予算						
		繰越し等						
		計				65	218	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	①コーディネーター期間における採取行程日数(平均81日)の短縮 ②造血幹細胞移植実績数の全国平均以上		成果実績	日	-	-	-	平均以下
			達成度	%	-	-	-	
			成果実績	件	-	-	-	全国平均の2倍
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①他の医療機関から紹介された患者を受け入れ、造血幹細胞移植を実施した件数 ②研修実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	(-)	(-)	()
			活動実績 (当初見込み)	件	-	(-)	(-)	()
			活動実績 (当初見込み)	件	-	(-)	(-)	()
活動実績 (当初見込み)			件	-	(-)	(-)	()	
単位当たりコスト	21,783,000(円/カ所)		算出根拠	造血幹細胞移植拠点病院1カ所あたり補助金額 65,349,000(円)÷3(カ所)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	補助金	65	218	「新しい日本のための優先課題推進枠」218				
	計	65	218					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	造血幹細胞移植拠点病院を整備することにより、患者の疾病の種類やステージに合わせた治療が行われ、治療成績の向上が図られることから、広く国民のニーズがあり、国費を投入して行うべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の主導において拠点病院の整備を行うことにより、造血幹細胞移植医療の底上げを図り、治療成績の向上を図るものであることから、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」において、骨髄及び末梢血幹細胞の採取に係る医療提供体制の整備に必要な施策を講ずるものとするされており、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は造血幹細胞移植拠点病院に限られるため、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	拠点病院の整備を行うことにより、造血幹細胞移植医療の底上げを図り、治療成績の向上を図るものであることから、負担関係は妥当と考える。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	造血幹細胞移植拠点病院1カ所あたりに最低限必要となる経費であるため、妥当と考える。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	造血幹細胞移植拠点病院1カ所あたりに最低限必要となる経費であるため、妥当と考える。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	造血幹細胞移植拠点病院を整備することにより、治療成績の向上及び研究の促進が図られ、疾病の種類やステージなど患者の状態に合わせた適切な治療を受けられるようになるため、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。 また、支出先についても、指定された造血幹細胞移植拠点病院に限られるため、効果的かつ効率的な事業の実施が見込まれる。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	造血幹細胞移植に係る医療の人的・物的体制整備は広く国民のニーズがあり、優先度が高いものであるが、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
—					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-015

厚生労働省
65百万円
造血幹細胞を用いた早期治療の実践や人材育成、治療成績の向上及び研究を促進するための基盤整備に必要な経費を補助

【補助】↓

A. 医療機関(3カ所)
65百万円
積極的な骨髄採取や地域の医療機関への研修などを実施

※平成25年度のイメージを記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					